

ふるさと・水と土保全対策事業
棚田地域の総合保全対策事業

H29年度実績・H30年度事業について

滋賀県 農村振興課

平成29年度の実績

1. ふるさと・水と土保全対策事業

調査研究事業

- 中山間地域現状調査（県内12集落）

推進事業

- ふるさと・水と土保全対策推進懇話会 2回開催
- 人と地域が織りなす滋賀の農業・農村活力創造プロジェクト 1地区
- 普及啓発
 - ・facebookによる情報発信

1-1. 中山間地域現状調査 (H28~H29)

中山間地域の役割

○本県における中山間地域は 県土の約5割を占めており、水源涵養、洪水の防止、土壌の浸食や崩壊の防止、良好な景観の保全、保健休養の場の提供、生き物のすみかになる機能などの多面的機能によって、都市住民を含む多くの県民の財産、豊かな暮らしを守っている

現状・課題

○県内の中山間地域は人口減少、高齢化の進行、担い手不足により集落機能の低下、多面的機能の維持が困難になってきている
○それぞれの地域には地域の実情、課題、地域性等があり、地域ごとに必要な対策は何かを把握することが重要



調査・内容

中山間地域の現状を把握し、多面的機能を維持するためには何が必要か、地域住民へのアンケート・ヒアリング調査及び専門家の目で地域を歩き、よりきめ細やかな対策のアドバイスを得ることで、中山間地域の多面的機能の維持方法の検討を行う

【調査(委託)内容】<H28~H29>

- ・中山間地域アンケート・ヒアリング調査
(36集落:H28 24集落、H29 12集落)
- ・専門家との現地調査、助言(6集落:3×2)

対策の検討

- 世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策、中山間地域等直接支払、鳥獣被害防止総合対策交付金、棚田ボランティア制度のより効果的な活用
- 非農家、NPOなどの多様な主体が参加し、共同で農地や施設を保全
- 耕作放棄地の林地化、湿地化
- 高付加価値農産物への転換、担い手による特産物の栽培
- 放牧による獣害対策、動物とのふれあい

アンケート調査実施集落の維持管理計画は、次年度以降にふるさと水と土保全対策推進懇話会で地域住民と専門家で検討を実施

都市・農村交流の推進

- 都市農村共生・対流総合交付金などの活用
- ・地域散策ウォーキング
- ・家庭料理自慢から農家レストランへ発展
- ・縁がわかフェ
- ・下流住民との交流
- 都市部への情報発信
- ・SNS等による情報発信

地域内経済循環の仕組みづくり

- 農山漁村振興支援交付金、森林・山村多面的機能発揮対策交付金、小水力等再生可能エネルギー導入推進事業、6次産業化支援対策などの活用
- ・空き家、廃校を合わせ技で複合施設として活用
- ・地域資源を活用した6次産業化と交流
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・福祉、介護事業との連携
- ・歴史、伝統文化等の保存と継承

リーダー、後継者等の育成

- ふるさと指導員などの活用
- ・県、市などのOBの活用
- ・人材登録バンク制の活用
- ・高齢者と子どもの世代間交流
- ・多様な主体の参画(女性、若者、新規移住者)の活用

1-2. ふるさと・水と土保全対策推進懇話会

○ふるさと・水と土保全対策事業を効果的に推進するため、懇話会を開催し、意見交換をおこなった。

平成29年度

第1回

日時: 平成29年7月28日(金)

場所: 高島市畑(畑棚田ふれあい交流館)

内容:ふるさと・水と土保全対策・棚田地域の
総合保全対策事業のH28実績および
H29計画について
中山間地域現状調査について
畑の棚田保全の取組について

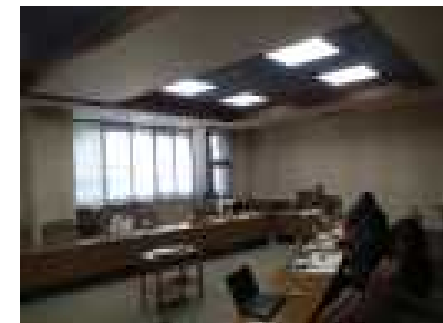


第2回

日時: 平成30年1月25日(木)

場所: 大津合同庁舎 7-A会議室

内容:ふるさと・水と土保全対策・棚田地域の
総合保全対策事業の概要および実施
状況について
中山間地域現状調査について



1-3. 人と地域が織りなす滋賀の農業・農村活力創造プロジェクト (H27~H29)

農業経営課(営農)と連携

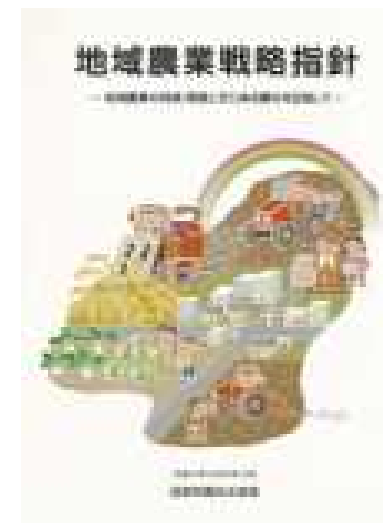
- 集落機能を維持・強化し、担い手による力強い農業経営の展開、および活力と魅力ある地域づくりを進める。
- 集落が地域の実情に応じた今後の農業・農村の目指す姿を定め、その実現に向けた活動を行うよう、農業者、関係者が一体となった取組を展開する。

【重点地域への支援、モデル育成】

○活力と魅力ある地域づくり(地域振興対策)

地域資源を活用した地域活性化の取り組み支援活性化モデル集落

- ①集落営農の発展(甲賀市甲賀町岩室)
- ②集落に支えられた個別経営の展開(彦根市薩摩)
- ③外部の担い手(農業サービス事業者等)によるサポート
(余呉町片岡南部地区)



中山間地域の農業・農村を守る仕組みづくり 【長浜市余呉町片岡南部地区】

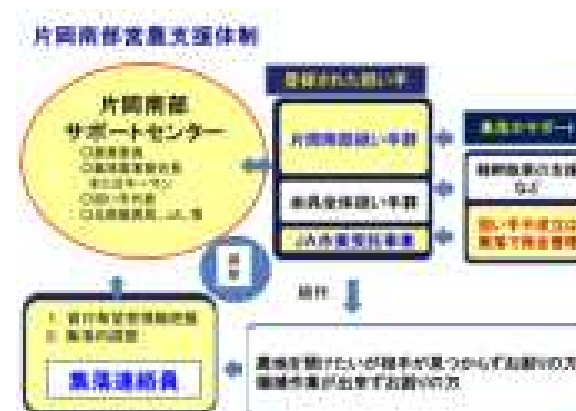
■取組内容・成果

①サポートセンターの取組

- ・ 広報誌の配布
- ・ 片岡南部農地集積検討会、意見交換会の開催
- ・ 先進地研修（福井県若狭町） 他

②棚田ボランティア活動の実施<池原集落>（2回）

- ・ 平成29年7月8日・9月23日



集合写真



そば打ち体験



集合写真



地元のお寺の説明

1-4. 普及啓発事業

フェイスブックによる情報発信

- ・ SNSによる情報発信（H29～）

フェイスブック名「しがの農業農村」



2. 棚田地域の総合保全対策事業

しが棚田ボランティアの実施状況

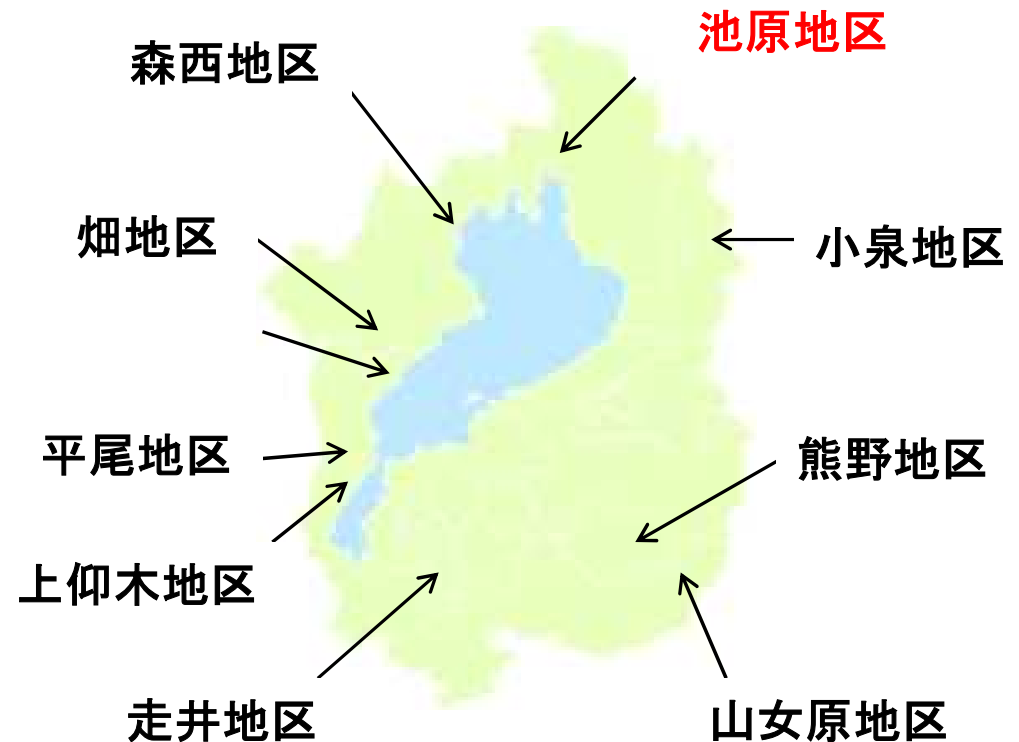
○棚田ボランティア受入地区

(9地区)

- 平尾地区 (大津市) H16~
- 畑地区 (高島市) H18~
- 熊野地区 (日野町) H20~
- 上仰木地区 (大津市) H21~
- 森西地区 (高島市) H24~
- 山女原地区 (甲賀市) H24~
- 走井地区 (栗東市) H26~
- 小泉地区 (米原市) H26~
- **池原地区 (長浜市) H29~**

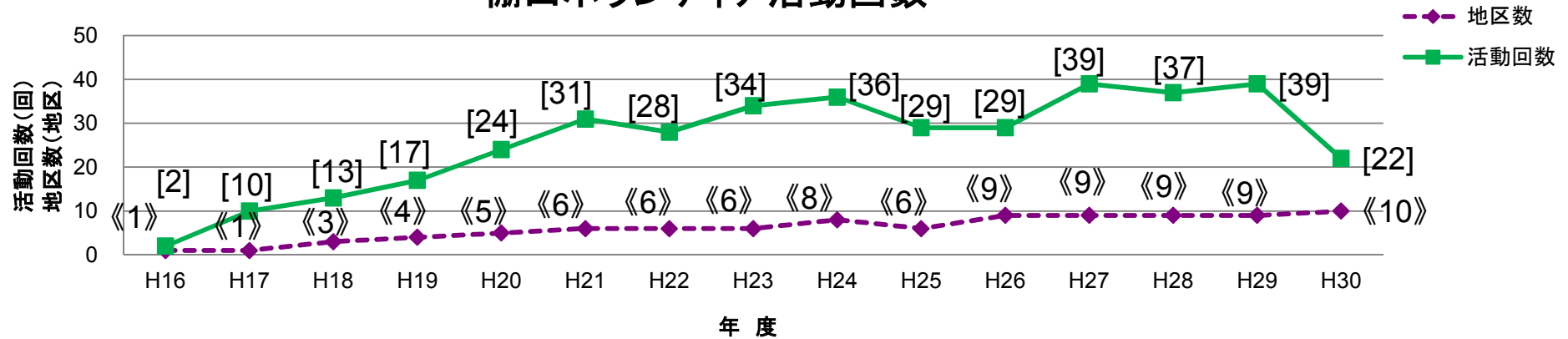
<完了地区>

- ・ 大河原地区 (甲賀市) H19~24
- ・ 曲谷地区 (米原市) H18~27

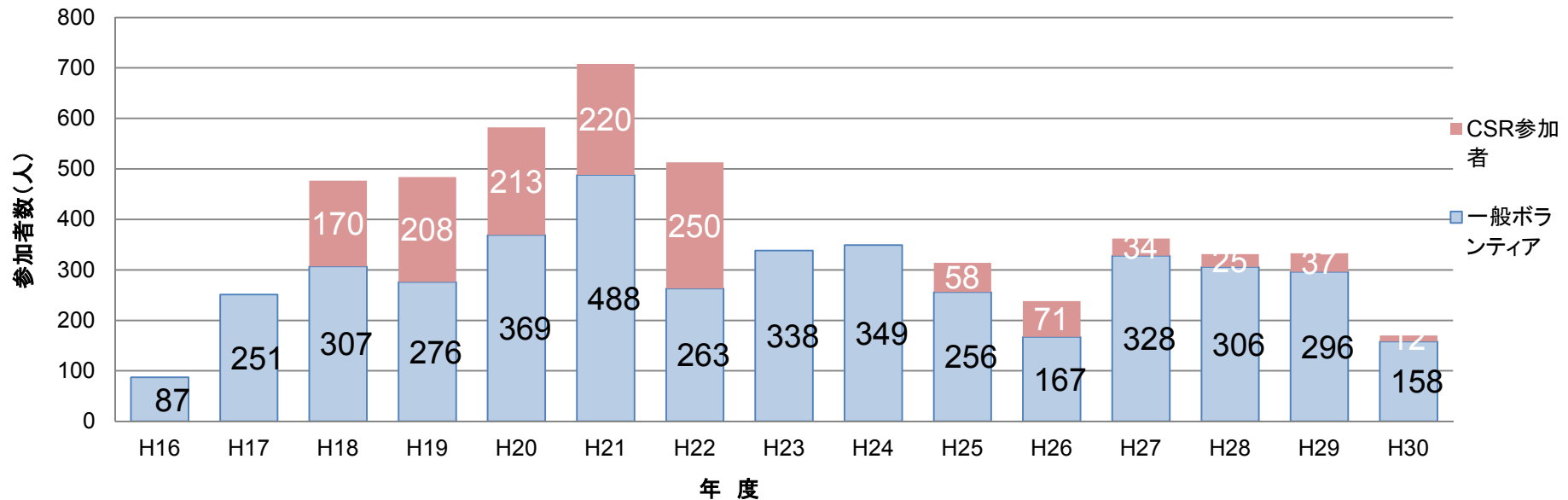


棚田ボランティア活動回数および参加者数

棚田ボランティア活動回数



棚田ボランティア参加者推移



H28…8.9人/回 H29…8.5人/回 H30…7.7人/回

平成30年度事業

3. ふるさと・水と土保全対策事業

研修事業

- 地元活性化リーダー育成事業(しがのふるさと支え合いプロジェクト)

推進事業

- ふるさと・水と土保全対策推進懇話会(2回予定)
- しがのふるさと支え合いプロジェクト(中山間ふるさと農村支え合い事業・しがのふるさと活力づくり支援事業)
- 普及啓発
 - ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信

4. 棚田地域の総合保全対策事業

新・新たな取組

1. 棚田ボランティア活動の推進

- ・新規活動組織の掘り起し
- ・ボランティア参加(希望)者への研修

2. しが棚田地域交流・研修会の実施

- ・活動組織とボランティア参加者等との交流、意見交換の推進・・・1回開催予定

3. 都市農村交流の推進

- ・活動地域の地域資源を生かした催しの推進・支援

4. 企業・大学との連携、参画の推進

- ・企業CSR活動による棚田保全の推進
- ・企業・大学との包括的連携協定に棚田保全・ボランティアを積極的に位置づけ
- ・学生ボランティアの参加者増、1日体験プログラムの支援

5. しが棚田トラスト制度の推進

- ・寄附特典の付加による寄附者、金額の増

6. 新たな棚田保全活動の仕組みづくり

- ・企業やグループ等と活動組織をコーディネート、マッチングする仕組みの検討

新

7. 情報発信の強化

- ・農村振興課フェイスブック等SNSの活用
- ・活動案内のチラシ配布、農村振興課ホームページ掲載